

東っ子だより 10月号

令和6年10月8日

校長 大淵 裕三子



本物の芸術にふれた東っ子(ミニコンサート&テレビ公開リハーサル)

やっと過ごしやすくなってきました。「秋」は様々な枕詞がついて表現されます。「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」等々・・・私は「**子供達が自分の好きなことにチャレンジする秋**」になることを願っています。

さて、昨年も来日してミニコンサートを行ってくださった、卒業生の中石智仁さん夫妻が、今年も子供達に「デュオフォーテ ピアノミニコンサート」を開いてくださいました。今年度は音楽室で、グランドピアノを囲むように座って演奏を楽しみました。子供達の感想は、

「聴いていると泣きたい気持ちになりました。」「音で心が輝きました。」「音がキラキラしていました。」「身体の動きで呼吸を合わせていました。」「手がとても素早く動いていてすごいと思いました。」等の感じたままの感想を、中石さん夫妻も興味深げに聞いておられました。

PTAより10月4日のユリックスでのコンサートチケットをプレゼントしていただき、大勢の親子が楽しむことができました。ありがとうございました。



そしてさらに、芸術に触れるチャンスがありました。それは出光興産「題名のない音楽会」公開リハーサルに全校で参加できたことです。

リハーサルとはいえ、「音は録音して本番でも活用するかもしれません」と言われ大人も緊張しました。事前にしっかり話をして観客席へ。ウキウキはしゃいでいたのですが、いざマイクを持った方が説明を始めると、「シーン」と驚くほど静かに聞くことができ、後でスタッフの方から「助かりました」と褒めていた

できました。もちろん演奏中も、プロの奏でる美しい音の響きと真剣な様子を肌で感じながら静かに聴くことができました。このような貴重な体験ができたことは、とても幸運であったと思います。

収録した内容は11月16日と23日に放映されます。昨年の募集で選ばれた3年生の折尾晴香さんが大好きなピアノでフィルと共演しますので、どうぞお楽しみに。

小中

一貫

CS

学園CSの目標：地域を愛し、自分で考え、自分で行動する子どもの育成
クリエイト：知識、考え方、行い方を作り出す子ども
コミュニケーション：他者を思いやり伝え合う子ども
チャレンジ：強い自分づくりに挑戦する子ども

【盛り上がったカルタ大会】

10月5日(土)に、子供達が毎年楽しみにしている「第9回防犯すこやかカルタ大会 in 日の里」が行われました。今年もたくさんの子が参加し、楽しいひと時を過ごしました。

カルタは個人戦と団体でのリレー対決がありました。子供達が犯罪に巻き込まれることなく健やかに成長するためのメッセージがたくさん詰まったカルタで楽しむ子供達を見ながら、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

日の里地区宗像警察署少年補導員会、日の里地区青少年指導員会の皆様、いつも本当にありがとうございます。



《10月のおもな行事》

- 10月 2日(水) 水泳学習(4年) 題名のない音楽会公開リハーサル
- 3日(木) お日さま文庫読み聞かせ(1~4年) 修学旅行事前交流会(6年)
- 4日(金) 水泳学習(5年) 着衣水泳(6年) タグラグビー(4年)
- 7日(月) 生活科見学(1年)
- 8日(火) イングリッシュキャンプ(4年) 修学旅行(6年)
- 9日(水) 修学旅行(6年)
- 10日(木) 職員研修会(児童下校 13:15)
- 11日(金) 委員会活動(高学年) タグラグビー(4年)
- 14日(月) スポーツの日
- 16日(水) お話会(2、4年) 社会科見学(3年)
- 17日(木) お話会(6年) 習字教室(3年) タグラグビー(4年)
- 18日(金) 習字教室(4年) クラブ活動(456年) 町探検(2年)
- 21日(月) イングリッシュキャンプ(3年)
- 22日(火) パトロールありがとうの会
- 23日(水) 水泳学習(5年) 町探検(2年)
- 24日(木) お日さま文庫読み聞かせ(1~4年) タグラグビー(4年)
- 25日(金) 宗像市研究発表会(児童下校 13:15)
- 30日(水) 学園授業交流会(児童下校 13:15) ※公開授業学級は 14:45 11x
家庭学習チャレンジ10(～11/7まで)



《「おりこうさんの脳」をどう育てる？》

9月号で長年脳の発達と子育ての研究をされてきた成田奈緒子さんは「子育ては脳が育つ順番に沿って行えばうまくいく」というお話を紹介しました。

「からだの脳」「おりこうさんの脳」「こころの脳」の3つのうち、今月は「おりこうさんの脳」について紹介します。

まず、先月紹介したように、「早寝早起き朝ごはん」は最強の「からだの脳」育てであり、「からだの脳」が丈夫に育てば、「おりこうさんの脳」も丈夫に育つことをまず共通理解しましょう。

「おりこうさんの脳」は1歳から18歳まで成長し続けますが、成長の中核期が6～14歳。ここが義務教育期、つまり現在真っ只中であり、日の里学園が関われる時期でもあります。

筆者は、勉強させるだけではおりこうさんの脳は育たないということです。どうすればよいのでしょうか。

「おりこうさんの脳」を育てるとは、本人が「勝手に勉強しだす」ような脳をつくる事です。

物事に興味を抱き、好奇心の赴くままに自発的に知識を求めていくベースをつくる事が大切です。

そのために、親や教師にできることは何でしょう。

それは「経験を積ませること」だそうです。子供が自分を取りまく世界を見る・知る機会を多く与えることが大切だそうです。

家庭での役割、学校での役割を与え、家庭生活や学校生活という社会に参画させることがとても大切であり、役割を果たして感謝されることの喜びや段取りや作業が上手くなっていく達成感を味わうことで「自己肯定感」が高まっていきます。

役割は、失敗も想定内でやらせてみよう

身の回りのことを何でもしてあげて、必要なものが労せずして提供されてばかりでは、何かを求める心＝物事への関心が生まれません。

役割を任せても、最初の段階では下手で当たり前、時間がかかって当たり前、失敗して当たり前です。数々の失敗を見守りながら、「大丈夫、いずれ必ず、できるようになる。」という長期的な視野を見据えた「信頼」をもちましょう。

「勉強って楽しい」と感じられる脳づくりを

ただし「すぐに」ではありません。小学校のころから本心から喜び勇んで学校の勉強をするような子はめったにいません。それでも働きかけによって、「勉強は楽しい」と感じられる脳がつくられていれば、いつか必ず自発的に学び始めます。

ところが大人の多くはその逆をしてしまいます。「勉強しなさい」と口うるさく言うことによって、勉強を義務だと思わせてしまうのです。

ネットの情報に、実体験を結び付けよう

ネットで子供の好奇心の対象が見つかったら、それをリアルで体験する機会を提供しましょう。学校の勉強も同様です。例えば授業を通して社会に興味をもったとしたら、ぜひ一緒に行ってみましょう。

何かに没頭しているのを見逃さず、「何それ」「好きなんだ」「どういところが面白いの」と聞いてみましょう。きっと身を乗り出して話してくれるはずです。自分の好きなことに親も興味をもって来て実体験させてくれるとなると、まさに最高。そんな心躍る体験を一つでも多く子供に贈りましょう。

成田奈緒子著「子育てを変えれば脳が変わる」より
次号は「おりこうさんの脳時代はこころの脳の準備期間」です。